

特定薬剤管理指導加算2におけるトレーシングレポートについて

渋川医療センターでは、トレーシングレポート（服薬情報提供書）の運用を開始しました。下記掲載の様式、注意事項及び Dr.JOY システムを通じた提出へご協力をお願いいたします。

トレーシングレポートとは？

保険薬局で患者から聞き取ったアドヒアランスや副作用に関する情報など、**即時性は低い**ものの医師に情報提供すべきと考えられる事項を伝えるためのレポートです。

【トレーシングレポートの注意点】

- 1)
 - ・即時性は低いが、薬剤師が医師へ情報提供すべきと判断したものに対して実施する
 - ・報告の際は、指定様式を使用する。
- 2)
 - ・疑義照会の手段として使用しない。
 - ・処方提案の手段として使用しない。

【トレーシングレポート様式】

特定薬剤管理指導加算2におけるトレーシングレポートをダウンロードし、作成してください。

トレーシングレポート作成の注意点

- ・報告は簡潔にわかりやすく、事実や根拠をもとに作成してください。
- ・伝えたい内容を相手に伝わるように、情報を整理して作成してください。

【提出方法】

Dr.JOY システム(薬薬連携機能を利用)を介し報告様式を添付し電子的に報告してください。

注) Dr.JOY の薬薬連携機能は当院との処理を完了しないと使用できません。

Dr.JOY による薬薬連携への手順

1. Dr.JOY システムの初期登録を行ってください。
2. 登録完了後、薬薬連携の権限設定を行ってください。
3. 当院薬剤部へ必要事項を記載し、連絡してください。
(メールアドレス、必要事項は下記参照)
4. 当院で薬薬連携の申請・処理を行います。
5. Dr.JOY システムの薬薬連携機能が使用可能となります。

薬薬連携参加希望者は下記のメールアドレスに必要項目を記入し、薬剤部までご連絡ください。

薬剤部 E-mail：207-yakuzai_mbx@mail.hosp.go.jp

- 申込者
- 保険薬局名
- **Dr.JOY に登録を行った**メールアドレス
- 問い合わせ先（電話番号）

【運用面】

1. 報告内容を薬剤部で確認し、必要に応じて薬剤部が医師へ情報提供を行います。
2. Dr.JOY を通じ報告された内容は、原則薬剤部より Dr.JOY を通じ返信します。
3. 即時性の低い報告のため、院内処理も即時対応できかねます。
4. 当院では当面、**特定薬剤管理指導加算 2 のみ**の対応を行います。